

平成27年度 第1回
鳥栖市文化財保護審議会

1. あいさつ
2. 議 題
 - (1)平成26年度事業報告 …………… 1～10
 - (2)平成27年度事業計画 …………… 11～12
3. その他

日 時 平成27年6月4日(木)
午前10時～

場 所 鳥栖市役所南別館2階会議室

鳥 栖 市 教 育 委 員 会

1. 平成26年度事業報告

(1)調査

- ① 埋蔵文化財包蔵地内における開発行為81件について事前審査を行い、うち50件の確認調査、5件の工事立会を実施した。このうち内畑遺跡(元町)と姫方遺跡(姫方町)、儀徳遺跡(儀徳町)の3件については本調査を実施し、開発と文化財保護の調整に努めた。
〈4～10 ページ〉
- ② 平成25年度に実施した藤木遺跡の発掘調査報告書と平成26年度の文化財事業の概要を記した文化財年報を作成・刊行した。
- ③ 文化資源充実事業について、記者室の佐賀新聞の整理と鳥栖市誌編纂事業後中断していた佐賀新聞の記事見出しの整理に着手した。

(2)保護・管理

- ① 指定文化財(国2件、県2件、市他14件)等の管理を、所有者や地元団体に委託又は、補助を行い、保護に努めた。
田代太田古墳では、樹木の枝落としと竹の伐採を行い、遺跡の保存、管理を行った。〈写真A〉
- ② 文化財防災啓発の一環として、3月25日に宿町船底神社境内で消防訓練を行った。〈写真B〉
- ③ 史跡等の管理として安永田史跡公園等の下草刈りを行うとともに、庚申堂塚の説明板の修繕を行った。
- ④ 装飾古墳の田代太田古墳・ヒャーガンサン古墳で、温湿度変化のデータ収集、目視による環境観察を行った(熊本県立装飾古墳館の協力により平成22年12月から継続)。

(3)普及・啓発

- ① 市重要文化財の268号機関車の公開を、鉄道OB会鳥栖支部と協働で、5月11日、11月2日、3月14日に行い、合計571人の見学者があった。
- ② 装飾古墳の田代太田古墳・ヒャーガンサン古墳の一般公開を12月7日に行い、延べ258人の見学者があった。ヒャーガンサン古墳には、これ以外で年間約400人の見学があった。〈写真C〉
- ③ 鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座『鳥栖の集落と交通』2を全8回開講し、合計264名の参加があった。〈写真D〉
- ④ 勝尾城筑紫氏遺跡を核とする地域の歴史と文化財を活かしたまちづくりを市民と協働して目指す「ふるさと元気塾」を開講し、ボランティアガイドの育成を行った。
- ⑤ 市民一般を対象に、市誌編纂のため収集した古文書をテキストにした古文書解読講座を

開講し、延べ380人の参加があった。

- ⑥ 平成25年度に本調査を実施した村田三本松遺跡(村田町)と藤木遺跡(藤木町)の成果を展示する文化財調査成果展を6月18日～7月4日に鳥栖市立図書館で開催し、800人の観覧者があった。〈写真E〉
- ⑦ 小中学校教育における総合的な学習の支援を行い、安永田遺跡・剣塚古墳・ヒャーガサン古墳等の史跡、あるいは旭文化財収蔵庫において考古資料や民具類等を公開したほか、郷土の歴史・文化財や自然分野についての質問対応などを行った。〈写真F〉

(4)勝尾城筑紫氏遺跡

- ① 史跡整備基本計画に基づき、葛籠城跡地区整備に伴う土地公有化事業に着手し、対象地区125,089㎡のうち、30,631㎡について公有化を行い、合計で65,288㎡(約52%)となった。
- ② 史跡の整備・管理の一環として、史跡内の樹木伐採・下草刈りを行った。
- ③ 遺跡見学会を5月18日と11月30日に行い、275名の参加があった。市制60年記念事業の一環として行った秋の見学会では、大友宗麟鉄砲隊による演武を行った。〈写真G〉

(5)会議

- ① 文化財保護審議会は、第1回を5月23日に開催し、平成25年度事業報告と平成26年度事業計画について報告した。第2回は11月18日に開催し、出土品取扱い基準の検討を行い、承認を受けた。また、勝尾城筑紫氏遺跡葛籠城跡地区の確認調査現場の現地視察を行った。
- ② 勝尾城筑紫氏遺跡保存整備委員会は、1月26日に開催し、現地視察と平成26年度の確認調査についての報告と平成27年度の確認調査についての検討を行った。



写真A 田代太田古墳樹木枝落とし後



写真B 文化財防火訓練（宿町船底神社）



写真C 田代太田古墳一般公開



写真D 歴史・文化講座の現地研修



写真E 文化財調査成果展



写真F 旭小学校の社会科見学



写真G 勝尾城筑紫氏遺跡見学会での大友宗麟鉄砲隊の演武

平成26年度確認調査により遺構・遺物を検出した地点

	遺跡名	原因者	開発目的	開発予定地	工事面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査期日	結果	備考
3	古賀天満宮遺跡	(有)イング	宅地造成	古賀町641-1他	2,646	65	5月15日	小穴	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
5	四ツ木遺跡	個人	共同住宅	曾根崎町1113-2他	988	50	6月10日	土坑、小穴	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
9	上天遺跡	個人	共同住宅	田代大官町811-10	553	24	7月8日	土坑、小穴	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
14	村田三本松遺跡	(株)西日本トラスト	宅地造成	村田町319番1	1,092	52	10月10日	土坑、小穴	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
16	本原遺跡	個人	宅地造成	原町1026-1	3,848	290	10月20日	土坑、小穴	協議中
18	今泉遺跡	個人	共同住宅	今泉町2614-6	476	40	12月5日	住居跡、小穴	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
21	村田三本松遺跡	個人	共同住宅	村田町169番1他	1,411	125	12月17日	土坑、小穴	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
27	古賀遺跡	個人	個人住宅	古賀町513-1他	542	12	1月29日	小穴、土器片	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
32	藤木遺跡	個人	集合住宅	藤木町1214番1他	1,161	111	2月9日 ～10日	土坑、小穴	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
49	真木遺跡	個人	個人住宅	真木町2053番2の一部	200	7	4月3日	小穴	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
47	勝尾城筑紫氏遺跡	鳥栖市	重要遺跡 確認調査	山浦町字中原3181他5筆	—	140	10月24日 ～2月25日	空堀、土塁	整備事業に伴う調査

内畑遺跡

【所在地】 元町字内畑 1092 番 16 (3区)、1092 番 4 (4区)

【遺跡の時代】 弥生時代、近世 【種類】 集落跡

【調査面積】 約 800 m²

【事業の原因】 アパート建設 (3区)、宅地分譲 (4区)

【調査期間】 平成 26 年 5 月 7 日～7 月 28 日

【調査の概要】

当該調査区は、轟木川左岸の標高約 18m の低位段丘上に立地する。江戸時代には調査区北側に長崎街道が通り、周辺には瓜生野村が所在した。周辺では過去に弥生～古墳時代の集落跡や甕棺墓を中心とした墳墓跡を確認している。

調査の結果、3区では、弥生時代の住居跡 5 軒、江戸時代の溝 1 条、時期不明の溝と土坑を確認した。住居跡は大部分を掘削されており、床面がわずかに残るのみであった。4区では、弥生時代の住居跡 6 軒、土坑 2 基、貯蔵穴 1 基、江戸時代の溝 1 条、不明土坑 9 基を確認した。

3、4区で確認した江戸時代の溝は、幅約 1.5m、深さ 0.3～0.6m で、陶磁器や瓦が出土しており、江戸時代後期のものとみられる。

上 調査区全景

下 近世の区画溝(4区)



姫方遺跡 2 区

【所在地】 姫方町字姫方 216-1、215-5

【遺跡の時代】 弥生時代

【種類】 集落跡

【調査面積】 約 250 m²

【事業の原因】 共同住宅建設

【調査期間】 平成 26 年 5 月 30 日～6 月 24 日

【調査の概要】

本川右岸の標高約 17m の低位段丘上に立地し、現況は宅地として利用されていた。800m 東は小郡市と県境を接しており、西海道が推定される地点である。また小郡市の間は湿地帯であることが確認調査等で判明している。150m 南には、肥前国風土記にも記載されている姫古曾神社が鎮座している。

調査の結果、弥生時代後期の溝 2 条、時期不明の住居跡 1 軒を確認した。溝が環濠の性格を持つものなのか、この調査面積から判別するのは困難だが、溝の規模、地形、歴史的状況から環濠集落が展開している可能性が高い。溝 1 は幅 2m、深さは 1m 程度、溝 2 は幅 0.8m、深さ 0.5m 程度である。形状は逆台形及び U 字形であり、掘り直された形跡を見ることができる。住居はコーナー部分のみの確認である。

遺物は、コンテナ数で 20 個、弥生土器、鉄器、石器を確認している。2 条の溝とも後期前半～中頃の範疇の土器が出土している。



姫方遺跡全景（東から）



溝（北から）

儀徳遺跡

【所在地】 儀徳町字村内 3100-1 外 7 筆

【遺跡の時代】 弥生時代、古代 【種類】 墳墓跡、集落跡

【調査面積】 約 2000 m² 【事業の原因】 宅地造成

【調査期間】 平成 26 年 10 月 27 日～3 月 20 日

【調査の概要】

当該調査区は、朝日山から南へ延びる低位段丘の西先端付近の標高約 11m の低位段丘上に立地する。過去に周辺でも弥生時代の墳墓跡を確認している。

調査の結果、甕棺墓 30 基、土壙墓 51 基、石棺墓 11 基、土坑 20 基を検出した。また、確認調査で古代の土師器を確認していたが、同時期とみられる遺構は瓦器碗が出土した土坑 1 基を検出したのみであった。

弥生時代の墓地は、甕棺墓を中心とする中期と石棺墓を中心とする後期に造営されたとみられ、一時的な隔絶があるもののほぼ同じ方位で列状に埋葬されていた。このことから、隔絶の間も当地区に墓地の様相が残るか、墓地として認識されていたことが考えられる。

なお、遺物は弥生時代中期の土壙墓から銅矛切先 1 点と磨製石剣 1 点、2 基の石棺墓から鉄鏃などの鉄製品が出土した。



上段 調査区全景（西から）
中段 石棺墓検出状況
下段 SP71 出土銅矛切先

勝尾城筑紫氏遺跡 葛籠城跡地区（重要遺跡確認調査）

【所在地】 山浦町字中原 3181 他5筆

【遺跡の時代】 中世

【種類】 城郭

【調査面積】 140 m²

【事業の原因】 整備事業に伴う調査

【調査期間】 平成26年10月24日～2月25日

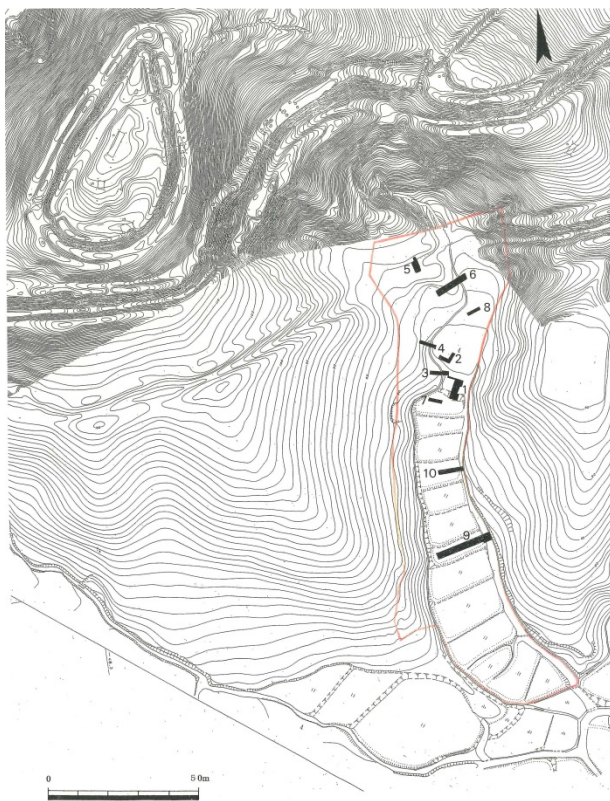
【調査の概要】

葛籠城跡地区は、過去、平成8・16年度の2か年にわたり、確認調査を実施しているが、今回、主郭の南東谷部については下記の目的で調査をおこなった。なお調査期間は平成26・27年度を予定している。

①葛籠城の通路や出入口の可能性があり、関連する遺構の有無やその状況の把握。

②空堀の深さや形状の確認。

①については、通路や出入口については確認できなかったが、土塁が一部途切れている箇所が人工的に築かれたものであることが判明し、水を城外に排出される施設の存在が疑われる。②については断面がV字形、深さ1.8mの空堀を検出し、過去の調査事例と鑑み、葛籠城跡を東西にかけて築かれている空堀は、現状で平均して1.8m埋没していることが判明した。

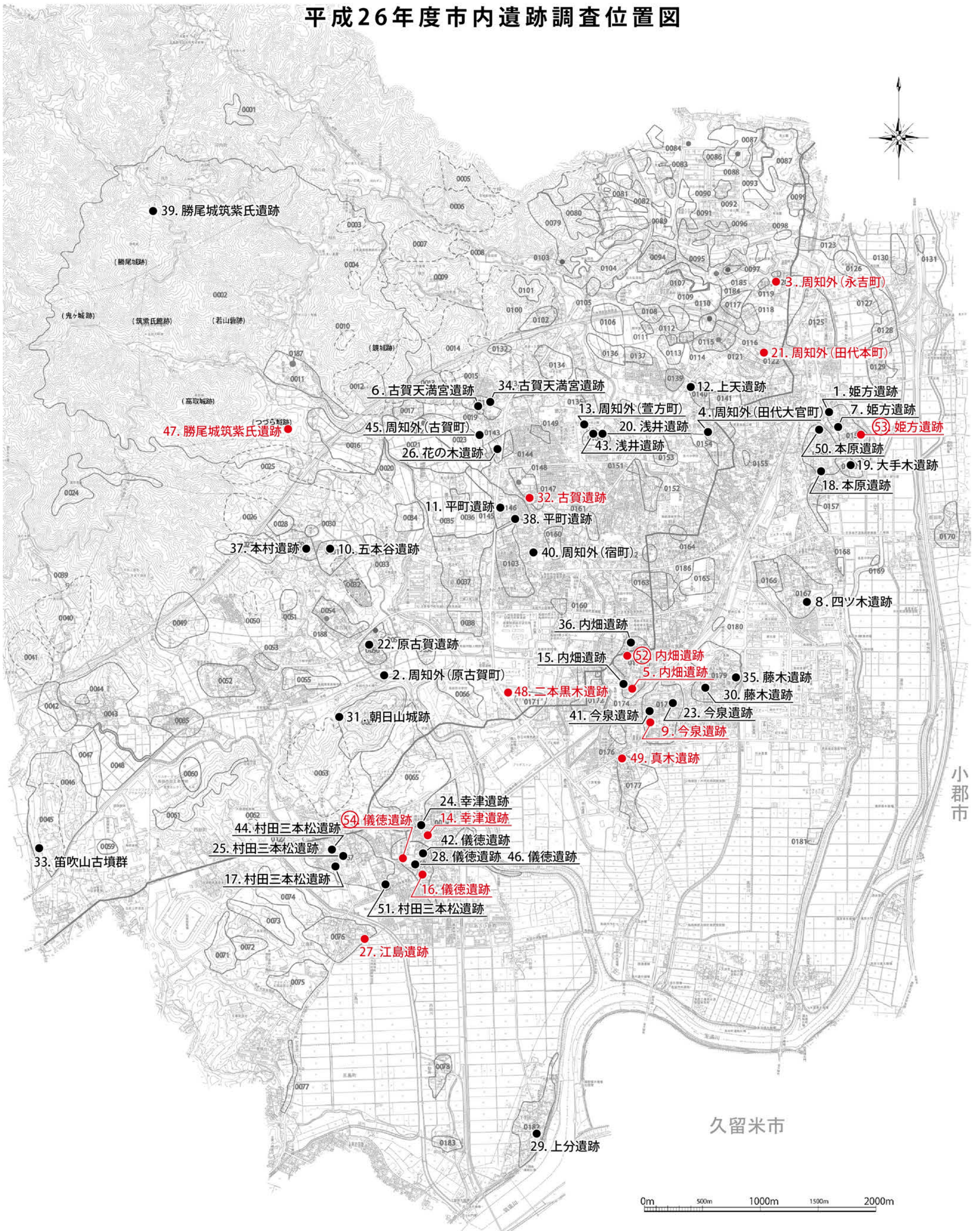


トレンチ配置図



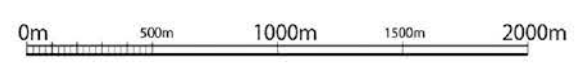
上：空堀 下：土塁及び水路

平成26年度市内遺跡調査位置図



小郡市

久留米市



2. 平成27年度事業計画

(1)調査

- ① 市内各地に分布している埋蔵文化財について、開発に際し事前の確認・試掘調査を実施して開発との調整を図り、その保護に努める。
- ② 昨年度に発掘調査を実施した内畑遺跡(元町)、姫方遺跡(姫方町)、儀徳遺跡(儀徳町)の整理を行い、報告書を作成・刊行する。
- ③ 文化資源充実事業については、調査手法の検討を進め、可能なところから調査や資料の収集を行う。

(2)保護・管理

- ① 文化財の保存管理として、国・県・市指定文化財を中心に史跡・民俗芸能等に対し、所有者や地元団体に委託あるいは補助金の交付を行うとともに、道具類の補修・新調に対する補助を必要に応じて行い、これらの保存に努める。
- ② 史跡等の保安全管理について、下草刈りや雑木の伐採、あるいは案内板の点検等を適時行い、見学者の利便を図る。
- ③ 過去の調査で出土した遺物類や記録、あるいは市誌編纂事業の過程で収集した資料の取り扱いについて、整理を進めるとともに、保存活用方法の検討を行う。
- ④ 整理室の再編と収蔵遺物の再整理に着手する。

(3)啓発・普及

- ① 文化財常設展示を5月1日から鳥栖市立図書館で開始した。その一環として、平成26年度に調査を実施した内畑遺跡、姫方遺跡、儀徳遺跡の成果を、7月から展示公開する。
- ② 田代太田古墳・ヒャーガンサン古墳・268号機関車等の一般公開、勝尾城筑紫氏遺跡の見学会等の開催、小中学校における総合的な学習の支援、一般向けの出前講座等により、広く郷土の歴史・文化や文化財の周知・理解に努める。
- ③ 市民を対象にした「鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座」「郷土資料講座」を開講する。歴史・文化講座は、「鳥栖の集落と交通」をテーマとして全8回の座学と現地見学を行う(P12)。郷土資料講座は、市内の古文書を教材として初心者コースと中・上級者コースを開講する。
- ④ 歴史と文化財を活かしたまちづくりを目指して、市民と協働した「ふるさと元気塾」を開

講し、史跡ガイドの育成等に努める。

(4)勝尾城筑紫氏遺跡

- ① 史跡整備基本計画に基づき、葛籠城跡地区の公有地化を進めるとともに、整備地区での遺構等の状況を確認する調査を実施する。
- ② 史跡の保全管理と、葛籠城を中心に現況調査を行う。

平成27年度鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座年間計画

回	日時	内容	会場／集合
1	6月7日(日) 13:30~17:00	「轟木宿を歩く」 (見学先)轟木町周辺の史跡めぐり	轟木町日子神社
2	7月4日(日) 13:30~17:00	「轟木町の成り立ち」 ■講師 高尾 平良 氏(鳥栖市文化財保護審議会)	鳥栖北まちづくり 推進センター
3	8月1日(土) 13:30~15:30	「長崎街道の成立と江戸時代の旅と街道」 ■講師 高尾 平良 氏 (鳥栖市文化財保護審議会)	若葉まちづくり 推進センター
4	9月13日(日) 8:30~17:00	「長崎街道沿線の史跡めぐり」 (見学先)小田宿、塚崎、嬉野、俵坂、塩田	鳥栖市役所 職員玄関前
5	10月24日(土) 13:30~15:30	「幡崎村の成り立ちとくらし」 ■講師 藤瀬 禎博 氏 (鳥栖郷土研究会)	基里まちづくり 推進センター
6	11月8日(日) 13:30~17:00	「幡崎町を歩く」 (見学先)幡崎町周辺の史跡めぐり	基里まちづくり 推進センター
7	12月5日(土) 13:30~15:30	未定 ■講師 未定	未定
8	1月11日(日)	未定 (見学先)未定	未定